

2012年度第2回女性学コロキウム開催のお知らせ

美術、文学とジェンダー

日時：2012年12月22日（土）

午後1時30分～午後5時

場所：大阪府立大学なかもずキャンパス

B3棟106会議室

1時30分～2時30分

伝記・神話・美術史

—女性芸術家はいかに語られてきたか

米村典子（九州大学准教授）

17世紀のイタリア人アルテミジア・ジェンティレスキと、19世紀末のパリで絵を学んだロシア人マリー・バシュキルツェフという2人の画家を通して、女性芸術家が神話化される構造を検討し、美術史が女性画家をいかに語ってきたかを考察します。



2時40分～3時40分

男装の動物画家ローザ・ボヌール

—その生涯と作品—

村田京子（本学教授）

19世紀後半のフランス人画家ローザ・ボヌールの生涯と作品を取り上げ、とりわけ彼女の思想の原点と男装、女性との共同生活の意味を、その絵画作品と関連させながら探っていきます。また、同じく男装で有名であった同時代のジョルジュ・サンドとの関係にも触れるつもりです。



4時～5時：自由討論

※ 参加は無料ですが、資料配付などの都合で事前にメール（または葉書）で下記までご連絡下さい。

企画・実施担当：大阪府立大学人間社会学部（女性学研究センター） 村田京子 (bal@hs.osakafu-u.ac.jp)

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 tel:072-254-9612 (ダイヤル・イン)